

## 令和5年度吉川市下水道事業会計決算概要

## 1 業務量

事項	令和5年度	令和4年度	比較	
			増減	比率
水洗化世帯数	25,805 世帯	25,507 世帯	298 世帯	1.2%
年間総排水量	5,887,505 m <sup>3</sup>	6,278,612 m <sup>3</sup>	△391,107 m <sup>3</sup>	△6.2%
1日平均排水量	16,130 m <sup>3</sup>	17,202 m <sup>3</sup>	△1,072 m <sup>3</sup>	△6.2%

## 主な建設改良事業

(単位：円)

区分	R5年度	R4年度	比較	
			増減	増減率
管渠事業	466,209,775	311,370,349	154,839,426	49.7%
ポンプ場事業	255,568,518	102,545,664	153,022,854	149.2%

令和5年度の業務量は、

- (1) 水洗化世帯数は、25,805世帯で、前年度に比べ298世帯（1.2%）増加しました。
- (2) 年間総排水量は、5,887,505m<sup>3</sup>で、前年度に比べ391,107m<sup>3</sup>（△6.2%）減少しました。
- (3) 1日平均排水量は、16,130m<sup>3</sup>で、前年度に比べ1,072m<sup>3</sup>（△6.2%）減少しました。
- (4) 主な建設改良事業につきましては、管渠事業4億6620万9775円となり、前年度に比べ1億5483万9426円（49.7%）増額となりました。  
また、ポンプ場事業は2億5556万8518円となり、前年度に比べ1億5302万2854円（149.2%）増額となりました。

## 2 収益的収入及び支出

### (1) 収益的収入

(単位：円)

項目	R 5 年度	R 4 年度	対前年比較	
			増減	比率 (%)
1 営業収益	933,663,913	914,671,329	18,992,584	2.1
下水道使用料	694,364,187	714,449,417	△ 20,085,230	△ 2.8
雨水処理負担金	238,043,000	199,238,000	38,805,000	19.5
受託事業収益	599,856	718,082	△ 118,226	△ 16.5
その他営業収益	656,870	265,830	391,040	147.1
2 営業外収益	643,641,125	627,066,588	16,574,537	2.6
受取利息	4,110	3,062	1,048	34.2
他会計負担金	12,807,000	15,085,000	△ 2,278,000	△ 15.1
長期前受金戻入	610,363,489	611,854,540	△ 1,491,051	△ 0.2
消費税及び地方消費税還付金	20,399,654	0	20,399,654	皆増
雑収益	66,872	123,986	△ 57,114	△ 46.1
3 特別利益	268,845	1,362,515	△ 1,093,670	△ 80.3
過年度損益修正益	268,845	1,362,515	△ 1,093,670	△ 80.3
事業収益 計	1,577,573,883	1,543,100,432	34,473,451	2.2

下水道事業収益は、15億7757万3883円となり、前年度に比べ3447万3451円（2.2%）増額となりました。

### 営業収益

・前年度に比べ1899万2584円（2.1%）増額

#### 【下水道使用料】

下水道使用料は、6億9436万4187円となり、前年度に比べ2008万5230円（△2.8%）の減額となりました。水洗化人口の減少及び新型コロナウイルスの鎮静化により、水道使用量が減少したことによるものと思われます。

#### 【雨水処理負担金】

雨水処理負担金は、雨水処理に要する経費について一般会計が負担するもので、2億3804万3000円となり、前年度に比べ3880万5000円（19.5%）増額となりました。

#### 【受託事業収益】

受託事業費負担金は、松伏町と共同で管理している東埼玉テクノポリス調整池の経費について松伏町が負担する分及び高久ポンプ場に接続されている県の水門の点検の経費について県が負担するもので、59万9856円となり、前年度と比べ11万8226円（△16.5%）減額となりました。

### 【その他営業収益】

その他営業収益は、65万6870円となり、前年度に比べて39万1040円（147.1%）の増額となっております。令和5年度は3年に1度の排水設備指定工事店の更新年で、手数料収入が多かったため増額となりました。

### 営業外収益

・前年度に比べて1657万4537円（2.6%）増額  
営業外収益は、6億4364万1125円となり、前年度に比べ1657万4537円（2.6%）増額となりました。主なものは、長期前受金戻入が6億1036万3489円で、前年度と比べて、149万1051円（△0.2%）の減額、消費税及び地方消費税還付金が2039万9654円（皆増）の増額となりました。

### 特別利益

・前年度に比べて109万3670円（△80.3%）減額  
特別利益は、26万8845円となり、前年度に比べて109万3670円（△80.3%）減額となりました。主なものは、一般会計からの負担金である令和4年度一般会計負担金不足分が23万1742円となっております。

## (2) 収益的支出

(単位：円)

項目	R5年度	R4年度	対前年比較	
			金額	比率
営業費用	1,321,409,633	1,292,086,465	29,323,168	2.3
管渠費	33,721,107	27,551,561	6,169,546	22.4
ポンプ場費	80,307,207	63,069,112	17,238,095	27.3
流域下水道費	237,772,600	253,192,480	△15,419,880	△6.1
受託事業費	378,096	409,642	△31,546	△7.7
業務費	71,346,871	55,428,172	15,918,699	28.7
総係費	36,551,458	37,459,088	△907,630	△2.4
減価償却費	858,544,650	854,976,410	3,568,240	0.4
資産減耗費	2,787,644	0	2,787,644	皆増
営業外費用	62,146,313	74,350,977	△12,204,664	△16.4
支払利息及び企業債取扱諸費	62,146,313	66,103,277	△3,956,964	△6.0
消費税及び地方消費税	0	8,247,700	△8,247,700	皆減
特別損失	15,190,409	6,029,512	9,160,897	151.9
過年度損益修正損	15,190,409	6,029,512	9,160,897	151.9
事業費用計	1,398,746,355	1,372,466,954	26,279,401	1.9

下水道事業費用は、13億9874万6355円となり、前年度に比べ2627万9401円（1.9%）増額となりました。

## 営業費用

・前年度に比べ2932万3168円（2.3%）増額

### 【管渠費】

管渠費は、3372万1107円となり、前年度に比べて616万9546円（22.4%）の増額となりました。主なものとして、雨水幹線の除草等、雨水管渠施設の維持管理に係る委託料が1294万4800円となっております。

### 【ポンプ場費】

ポンプ場費は、8030万7207円となり、前年度に比べて1723万8095円（27.3%）の増額となりました。主なものとして、ポンプ場の施設管理に係る委託料が5351万5626円となっております。

### 【流域下水道費】

流域下水道費は、2億3777万2600円となり、前年度に比べて1541万9880円（△6.1%）の減額となりました。主なものとして、汚水処理のための県への負担金が2億3550万200円となっております。

### 【受託事業費】

受託事業費は、37万8096円となり、前年度に比べて3万1546円（△7.7%）の減額となりました。内容は、松伏町と共同で管理している東埼玉テクノポリス調整池の維持管理の経費です。

### 【業務費】

業務費は、7134万6871円となり、前年度に比べて1591万8699円（28.7%）の増額となりました。主なものとしては、吉川市水道事業へ委託している下水道使用料徴収委託料が6451万5220円となっております。

### 【総係費】

総係費は、3655万1458円となり、前年度に比べて90万7630円（△2.4%）の減額となりました。主なものとして、庁舎、公用車及びOA機器などの下水道事業使用分として一般会計に対する負担金が659万136円となっております。

### 【減価償却費】

減価償却費は、8億5854万4650円となり、前年度に比べ356万8240円（0.4%）の増額となりました。

### 【資産減耗費】

資産減耗費は、278万7644円となりました。これは吉川橋の架け替えに伴い、汚水管の撤去等に係る費用です。

**営業外費用**・・・前年度に比べ1220万4664円(△16.4%)減額

営業外費用は、6214万6313円となり、前年度に比べ1220万4664円(△16.4%)の減額となりました。企業債等支払利息が6214万6313円となっております。

**特別損失**・・・前年度に比べ916万897円(151.9%)増額

特別損失は、1519万409円となり、前年度と比べて916万897円(151.9%)の増額となりました。主なものとしては、令和4年度一般会計負担金精算分が1516万7146円となっております。

**3 資本的収入及び支出****(1) 資本的収入**

(単位 円)

	R 5 年度	R 4 年度	対前年比較	
			金額	比率(%)
1 企業債	655,900,000	444,200,000	211,700,000	47.7%
建設改良費等に充てるための企業債	473,600,000	249,800,000	223,800,000	89.6%
流域下水道事業債	26,700,000	26,300,000	400,000	1.5%
資本費平準化債	155,600,000	168,100,000	△ 12,500,000	△ 7.4%
2 他会計出資金	71,525,000	77,419,000	△ 5,894,000	△ 7.6%
一般会計出資金	71,525,000	77,419,000	△ 5,894,000	△ 7.6%
3 国庫補助金	209,210,000	130,038,000	79,172,000	60.9%
国庫補助金	209,210,000	130,038,000	79,172,000	60.9%
4 負担金	12,871,400	15,480,546	△ 2,609,146	△ 16.9%
一般会計負担金	12,624,000	15,362,846	△ 2,738,846	△ 17.8%
受益者負担金	247,400	117,700	129,700	110.2%
5 その他資本的収入	0	2,791	△ 2,791	皆減
その他資本的収入	0	2,791	△ 2,791	皆減
資本的収入計	949,506,400	667,140,337	282,366,063	42.3%

資本的収入は、9億4950万6400円で、前年度に比べ2億8236万6063円(42.3%)の増額となりました。

**企業債**・・・前年度に比べ2億1170万円(47.7%)増額

企業債は6億5590万円で、前年度と比べて2億1170万円(47.7%)の増額となりました。

**他会計出資金**・・・前年度に比べ589万4000円(△7.6%)減額

他会計出資金は、7152万5000円で、前年度に比べ589万4000円

(△7.6%)の減額となりました。これは、総務省の基準により一般会計で負担すべき企業債償還金分です。

**国庫補助金** ・ ・ 前年度に比べ7917万2000円(60.9%)増額

国庫補助金は、2億921万円で、前年度と比べて7917万2000円(60.9%)の増額となりました。内訳は、吉川美南駅東口における污水管布設工事において1億2895万8000円と雨水管布設工事において8025万2000円をそれぞれ充当しております。

**負担金** ・ ・ 前年度に比べ260万9146円(△16.9%)減額

負担金は、1287万1400円となり、前年度に比べて260万9146円(△16.9%)の減額となりました。主なものといたしましては、資本的支出に係る人件費の一般会計負担金が1262万4000円となっております。

**(2) 資本的支出**

(単位:円)

	R 5 年度	R 4 年度	対前年比較	
			増減	比率(%)
1 建設改良費	766,405,343	455,166,244	311,239,099	68.4
管渠費	466,209,775	311,370,349	154,839,426	49.7
ポンプ場費	255,568,518	102,545,664	153,022,854	149.2
流域下水道費	26,866,450	26,418,003	448,447	1.7
業務費	17,760,600	14,832,228	2,928,372	19.7
2 企業債償還金	443,568,366	442,488,094	1,080,272	0.2
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	356,398,619	359,523,571	△ 3,124,952	△ 0.9
流域下水道事業債	49,332,750	52,823,221	△ 3,490,471	△ 6.6
資本費平準化債	37,836,997	30,141,302	7,695,695	25.5
3 固定資産購入費	0	41,936	△ 41,936	皆減
固定資産購入費	0	41,936	△ 41,936	皆減
資本的支出	1,209,973,709	897,696,274	312,277,435	34.8

資本的支出は、12億997万3709円で、前年度に比べ3億1227万7435円(34.8%)の増額となりました。

**建設改良費** ・ ・ 前年度に比べ3億1123万9099円(68.4%)の増額

建設改良費は、7億6640万5343円となり、前年度に比べ3億1123万9099円(68.4%)の増額となりました。

#### 【管渠費】

管渠費は4億6620万9775円となり、前年度と比べて1億5483万9426円（49.7%）の増額となりました。主なものといたしましては、吉川美南駅東口周辺地区における污水管等布設工事2億8614万6200円、同地区内の雨水管布設工事が1億1196万7700円となっております。

#### 【ポンプ場費】

ポンプ場は2億5556万8518円となり、前年度と比べて1億5302万2854円（149.2%）の増額となりました。主なものといたしましては、高久雨水ポンプ場ポンプ改修工事が4092万円、共保雨水ポンプ場機械設備改修工事が5720万円となっております。

#### 【流域下水道費】

流域下水道費は、2686万6450円となり、前年度と比べて44万8447円（1.7%）の増額となりました。内容といたしましては、埼玉県流域下水道施設建設に対する負担金となっております。

#### 【業務費】

業務費は1776万600円となり、前年度と比べて292万8372円（19.7%）の増額となりました。内容といたしましては、取付管や公共ます等の污水排水設備工事費となっております。

#### 企業債償還金

・前年度に比べ108万272円（0.2%）増額  
企業債償還金は、4億4356万8366円となり、前年度に比べ108万272円（0.2%）の増額となりました。

#### 【補填財源】・・・前年度と比べ2991万1372円（13.0%）増加

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は2億6046万7309円となり、前年度に比べ2991万1372円（13.0%）増加しております。

この不足額については、下記の資金で補填します。

	金額	説明
当年度分消費税資本的収支調整額	20,546,146 円	資本的支出のうち、課税支出に属する仮払い消費税の額
減債積立金	142,500,230 円	前年度末までに利益剰余金から企業債償還のために積み立てた積立金
過年度分損益勘定留保資金	97,420,933 円	前年度までの減価償却費から長期前受金戻入を差し引いた額

## 4 主な事業

### (1) 清潔で快適な生活環境の確保

#### ★ 水洗化率の向上

公共下水道処理区域内の未接続建物所有者に対し、接続していただくため、通知による接続依頼のほか、広報誌へ記事の掲載をしました。

### (2) 効率的な施設整備

#### ★ 管渠建設改良事業

○ 吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業に伴う管渠布設工事

・ 汚水管布設工事費：L＝1826.20m 2億8614万6200円

・ 雨水管布設工事費：L＝ 44.10m 1億1196万7700円

※延長については工事完了分のみ

#### ★ ポンプ場設備更新事業

ポンプ場の設備の老朽化に伴い、実施した主な事業は下記のとおりです。

・ 共保雨水ポンプ場機械設備改修工事 5720万円

・ 高久雨水ポンプ場ポンプ改修工事 4092万円

・ 吉川中央第1調整池No.2排水ポンプ改修工事 1865万円

#### ★ 設備の適正な維持管理

設備を適正に維持するとともに長寿命化を図るため、設備の維持水準や優先度を考慮し、修繕等により設備の適正な維持管理を実施しました。

・ マンホール周辺舗装補修及び鉄蓋交換工事 518万1000円

・ 管渠内清掃業務委託等 158万4000円

・ 管渠内調査業務委託 572万円

### (3) 効率的な経営

厳しい経営環境のもと、信頼される下水道をめざすためには、安定した経営基盤の構築が不可欠であり、効率的な事業運営の推進に努めます。

#### ★ 事務の効率化

○ 下水道台帳の電子化を行い事務の効率化を図り、毎年度データの更新を行いました。

・ 下水道台帳整備委託料 577万5000円

・ 資産管理台帳システム保守業務委託料 74万2500円

## 5 下水道事業経営指標

項目	分析結果		指標説明
	R5 年度	R4 年度	
経常収支比率	111.3%	111.1%	当該年度において、料金収入等で維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標。
累積欠損金比率	0.0%	0.0%	営業活動で生じた損失を補てんできず、複数年にわたって累積した欠損金の状況を表す指標。0%であることが求められる。
流動比率	135.4%	113.7%	短期的な債務に対する支払能力を表す指標。
企業債残高 対事業規模比率	749.8%	686.4%	料金収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標。
経費回収率	125.6%	134.8%	下水道使用料で回収すべき経費（污水处理費）を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標。
污水处理原価	86.3 円	81.4 円	有収水量 1 m <sup>3</sup> あたりの污水处理に要した費用。
污水处理単価比率	125.6%	134.8%	使用料単価と有収水量に基づく污水处理単価とを対比した指標。利益を出すためには 100%以上である必要がある。
水洗化率	97.1%	97.1%	処理区域内人口のうち、実際に下水道を接続して污水处理している人口の割合を表した指標。
有形固定資産 減価償却率	12.7%	11.4%	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるか表す指標。
管渠老朽化率	0.0%	0.0%	法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表した指標。管渠の老朽化度合いを示している。吉川市においては法定耐用年数を超えた管渠はない。
管渠改善率	0.0%	0.0%	当該年度に更新した管渠延長の割合を表した指標。